



夏号

基本理念

私たちは、患者さん的人権を尊重し、
地域に必要な基幹的中心的な医療を
担当すると共に、さらに高次の医療に
対応できるよう努力します。

2018 Summer Vol.054

編集：広報委員会・広報課

印刷：有限会社 アクト

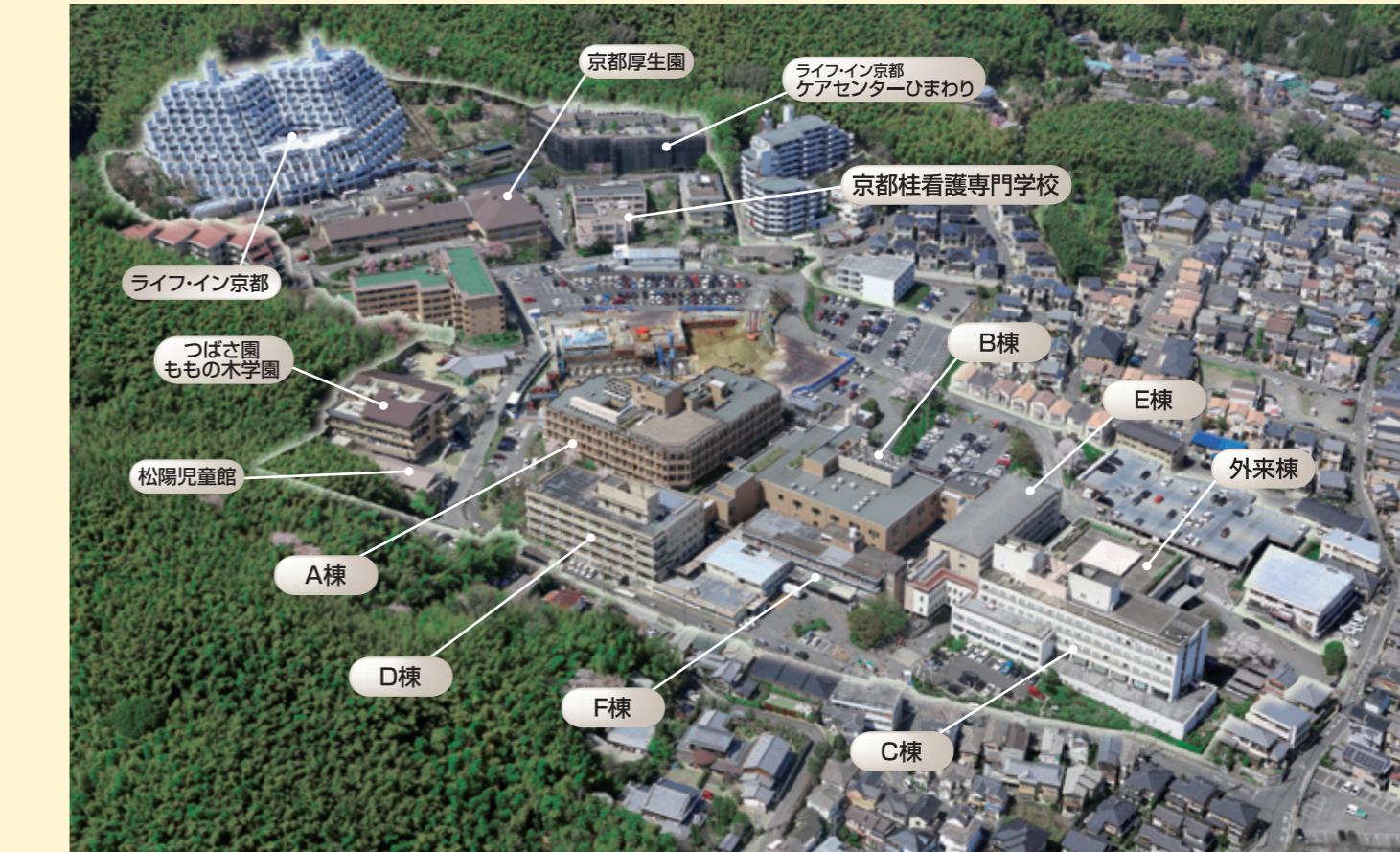
〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17
TEL 075-391-5811(代)

美山町 (撮影 桐山豊三郎)



Index

- 2 専門医がお答えします－第45回
心臓血管内科の最新治療
- 3 知っ得情報コーナー
薬剤科より 小さなお子さんのおくすりについて
- 4 手術支援ロボット ダヴィンチXiの機能と可能性
- 6 ナースの広場
2018年4月1日 看護部長を拝命いたしました
- 6 連携医ネットワーク
- 7 当院の医師・職員紹介



許可病床数

- 585床 (一般525床:結核60床)

診療科目

- 一般内科・血液内科・糖尿病・内分泌内科
- 腎臓内科・膠原病・リウマチ科・化学療法内科
- 心臓血管センター (心臓血管内科・心臓血管外科)
- 消化器センター (消化器内科・外科)・乳腺科
- 呼吸器センター (呼吸器内科・呼吸器外科)
- 脳卒中センター (脳神経内科・脳神経外科)
- 整形外科・形成外科・泌尿器科・産婦人科・眼科
- 耳鼻咽喉科・皮膚科・小児科・緩和ケア科
- 精神科・リハビリテーション科
- ペインクリニック・放射線科・麻酔科・救急科
- 血液浄化センター・健康管理センター

• 京都桂臨床医学研究所(臨床試験センター)・保育所

併設施設

- 京都桂看護専門学校 (全日制3年課程)
- 訪問看護ステーション「桂」

関連施設

- 西陣病院
- 京都厚生園
- 北野保育園
- つばさ園
- ライフ・イン京都
- にしがも透析クリニック
- 京都桂川園
- 二条保育園
- ももの木学園
- にしがも舟山庵
- 昭和保育園
- 松陽児童館



交通のご案内

市バス

- 73系統(京都駅～洛西バスターミナル)
- 29系統(四条烏丸～洛西バスターミナル)
- 69系統(二条駅西口～阪急桂駅東口)
- それぞれ「千代原口」下車、徒歩約10分

京阪京都交通バス

- 21, 27系統(京都駅～桂坂中央)
「千代原口」下車、徒歩約10分

阪急電鉄

- 京都線「桂駅」下車
(西口)西へ約1.7km



このコーナーでは、日頃皆さんが気にしておられる話題に、当院のスタッフが情報提供を行います。



薬剤科より



小さなお子さんのおくすりについて



薬剤科 堀内 望

私自身が親になり、改めて実感したことがあります。それは、子供が熱を出したときや様子がおかしいと感じたとき、親がとても不安な気持ちでいるということです。しかも小さな泣き声が響きます。

子供が熱を出したとき

おくすり飲ませ方パンフレット

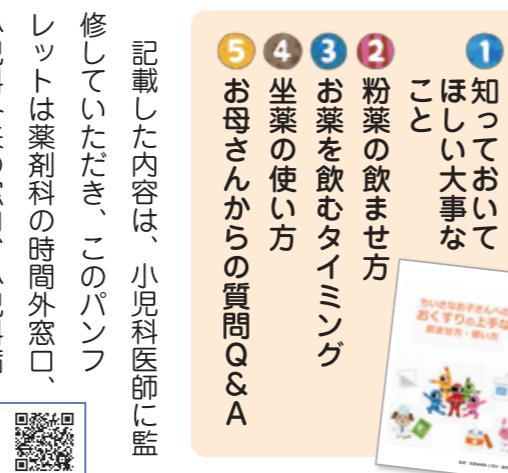


これまで当院はおくすりの効果や用法の説明を行っていましたが、おくすりに関連する様々な事態への対応方法についても、ご家族に説明する必要があると考えました。

そこで、薬剤科を中心に医師や看護師と協力し、小さなお子さんをお持ちの方に向けておくすり説明パンフレットを作成しました。

元気なお子さんに早く戻つてもらえるよう、おくすりの飲ませ方をはじめ、予測される事態についてあらかじめ情報提供を行うことで、ご家族の不安を少しでも軽くできるのではないかと考えています。

[京都桂病院 トップページ ▶ 診療科一覧 ▶ 小児科 ▶ お薬の説明](http://katsura.com/department/treatment-department/pediatrics.html)



専門医がお答えします
第45回

心臓血管内科の最新治療



副院長
心臓血管センター所長
中 村 茂

京都桂病院では1998年に、
京都西地区の循環器救急疾患に対応するため
心臓血管センターを立ち上げました。

狭心症、急性心筋梗塞、急性肺塞栓症、大動脈瘤破裂など緊急を要する治療を常時できるよう内科、外科を含めての総合診療部門を構築しました。心臓専用のカテテル室3室と、循環器集中治療室(CCU)10床を持つ国内でも有数の心臓血管治療の専門施設となっています。センターでは専任の医師が24時間365日常駐しており、来院時心肺停止患者さんの治療まで対応します。心停止による脳障害を少しでも軽減するため体温を34℃の低体温に管理

する低体温療法により来院時心肺停止の患者さんでも社会復帰できる数が増えてきました。当初より患者さんの負担を軽減するため、日帰りでのカテーテル検査を行い、今までカテーテル総件数は4万3000件、冠動脈カテーテル治療総数(PCCI)は1万1300件、末梢血管のカテーテル治療は4700件となりました。不整脈疾患もカテーテルで治療ができる時代となり、カテーテルによる不整脈治療件数は1300件、近年は脳塞栓の原因となる心

房細動の治療数も増加しています。またベースメーカー、植え込み型除細動器による不整脈治療も1200件となりました。これらの種々な複雑な治療は厚生労働省の施設認定が必要であり、心臓外科部門を有する病院でのみ行える専門が治療は大手術として知られていましたが、ここ10年で、小切開で治療できるステントグラフトにとって替わり、患者さんの負担は激減、早期の社会復帰ができるようになりました。これまで大動脈瘤の治療は大手術として知られていましたが、ここ10年で、小切開で治療できるステントグラフトの治療件数は京都府で最大です。



冠動脈疾患の治療は薬剤溶出性ステントがメインでした。院で治療を断念された難易度の高い患者さんの治療依頼もあり、国内、海外から多くの先生が研修に来られています。医療の現場は日進月歩であります。またベースメーカー、植え込み型除細動器による不整脈治療も1200件となりました。これらは厚生労働省の施設認定が必要であり、心臓外科部門を有する病院でのみ行える専門が治療は大手術として知られていましたが、ここ10年で、小切開で治療できるステントグラフトにとって替わり、患者さんの負担は激減、早期の社会復帰ができるようになりました。これまで大動脈瘤の治療は大手術として知られていましたが、ここ10年で、小切開で治療できるステントグラフトの治療件数は京都府で最大です。

冠動脈疾患の治療は薬剤溶出性ステントがメインでした。

が、治療器具の進歩により動脈硬化巣を切除し薬物を塗布する治療法の成績がよいことから、ステント植え込みを必要としない治療が行える時代に移行しつつあります。他病

院で治療を断念された難易度の高い患者さんの治療依頼もあり、国内、海外から多くの先生が研修に来られています。

院で治療を断念された難易度の高い患者さんの治療依頼もあり、国内、海外から多くの先生が研修に来られています。

あり、今後も最先端の治療、

あり、今後も最先端の治療、

低侵襲化、ス

低侵襲化、ス

ピード感のある治療を行つ

ピード感のある治療を行つ

ていきます。

ていきます。

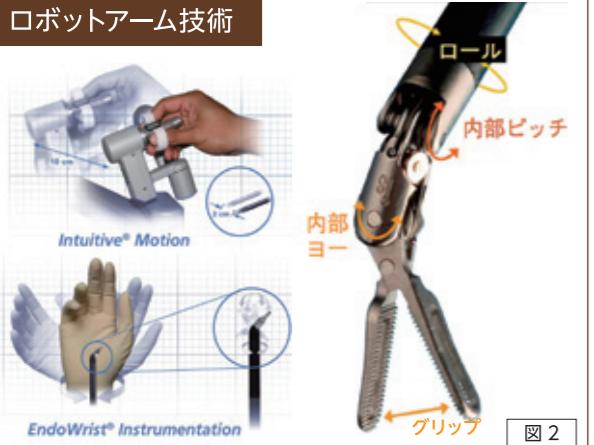


図2

ロボットアームによる立体視（図2）
鉗子の先端の関節自由度が大きく、人間の関節以上に自在に動き、従来の腹腔鏡鉗子では不可能な動きが体腔内で実現できます。また、術者の手の動きは操作レバーを介して実際よりも小さな動作に変換され、かつ、手ぶれも取り除かれてロボットアームに伝達されます。これにより繊細かつ正確な手術操作が可能となります。

ダヴィンチを用いた泌尿器科手術の実際
ダヴィンチを用いた手術では、体内での縫合を最も得意としますので、縫合を必要とする前立腺癌や腎細胞癌の手術においてその力を発揮します（図3）。ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術（RALP）では、従来の腹腔鏡手術と比べて断端陽性率や術後早期尿禁制の改善、手術時間の短縮が期待されます。また、勃起神経保存を行いややすくなり、より積極的に性機能の保持に取り組むことができます。

ダヴィンチXiのQ&A

Q どのような症例が前立腺全摘の対象になりますか？

A 限局性前立腺癌で75歳以下、重篤な合併症のない方がよい適応です。PSA（前立腺特異抗原）でいうと10ないし20以下が目安です。それ以外の患者さんでも適応となる場合がありますので担当医とご相談ください。

Q 泌尿器科疾患以外でも保険適応の疾患有りますか？

A 胃癌、子宮筋腫、直腸癌、肺癌などが保険適応となっています。当院でも外科では胃癌の手術を開始しています。また直腸癌や婦人科手術も開始にむけて準備中です。くわしくは各診療科の担当医にご相談ください。

り除くことができるといわれています。また実質縫合による止血も容易となります。また、膀胱癌の膀胱全摘術も施設基準取扱にむけて準備中です。



図3 膀胱と尿道の吻合

3Dカメラによる立体視（図2）
術者はコンソールのメガネの部分を覗き込むことで3D映像を体感します。最大10倍の高倍率であり、細かい血管なども明瞭に認識できます。

ダヴィンチに搭載されたテクノロジー

されます。執刀医がサーボジョンコンソールの操作レバーをあやつると、その動きはデジタル信号としてビジョンカートに伝わり、さらにビジョンカートは被指令側部分であるロボットアームを動かし手術が進行していきます。

これまで行われてきた腹腔鏡手術では、体に穴をあけ、鉗子とよばれる細長い道具を差し込み、その針子を直接人間が持つて操作することで手術を行ってきました。ロボット支援手術はこの鉗子をロボットアームを介して操作する手術で、これまでの腹腔鏡手術ではできなかった、より繊細で複雑な鉗子の動きが可能になります。従来の開腹や腹腔鏡下での手術にくらべ、手術

手術支援ロボットとは？

これまで行われてきた腹腔鏡手術では、体に穴をあけ、鉗子とよばれる細長い道具を差し込み、その針子を直接人間が持つて操作することで手術を行ってきました。ロボット支援手術はこの鉗子をロボットアームを介して操作する手

術で、これまでの腹腔鏡手術ではできなかった、より繊細で複雑な鉗子の動きが可能になります。従来の開腹や腹腔鏡下での手術にくらべ、手術

術で、これまでの腹腔鏡手術ではできなかった、より繊細で複雑な鉗子の動きが可能になります。従来の開腹や腹腔鏡下での手術にくらべ、手術

手術支援ロボット ダヴィンチXiの機能と可能性

手術支援ロボットは、手術の精度をより高める医療機器として注目されてきました。京都桂病院にも手術支援ロボットの導入が決定し、5月にインテュイティブ社の最新機種であるダヴィンチ（da Vinci）Xiがやってきました。手術支援ロボットの機能と可能性を解説します。

泌尿器科
部長

大久保 和俊



ダヴィンチXiの構成

図1



